

心の栄養剤No118 【あなたは天才だ・・・】

新しい薬を作るとき、「プラセボ」という偽物の薬を飲ませることがあるそうです。新しく開発された薬を飲んだときと、偽薬である「プラセボ」を飲んだときとを比べ、明らかに新薬のほうが体に効いている場合、その薬が認定されるそうなのです。

しかし、偽物の薬であるにもかかわらず、なんと3割くらいの方は病気が治ってしまうそうです。これが「フラシーボ効果」です。

手術でも、同じような結果が出ることもあるそうです。A群の患者には実際に膝の手術を施し、B群には実際には行わない「見せかけだけの手術」をします。

すると、ある実験の結果では、「B群全員が治った」そうです。錯覚は、病気さえも治してしまうことがあるということです。

逆に言えば、病気も、錯覚によってかかってしまうということがあるのかもしれない。

何人もの人から、「**今日、顔色悪いね**」と言われると、その人は本当に顔色が悪くなり、逆に「**顔色いいね**」と言われると、本当にその人の顔色がよくなったりするのです。人というのは、それだけ「思い込み」や「錯覚」の影響を受けるといえるのです。

この錯覚をうまく利用すれば、私たちの可能性は無限大になります。どんな錯覚をつくるかで、可能性も人生もまったく違うものになるということです。

僕は、アインシュタインやエジソンなど天才と呼ばれた人、あるいはスポーツ界や政財界などですぐれた活躍をした人たちがどんな教育を受けてきたかということを探りました。そして一つの「共通点」を見つけました。

それは、親や先生など、誰でもいいのですが、たった一人からであっても「君は天才だ！」とずっと言われ続けたということです。

アインシュタインとエジソンは、学校では落第生でした。すると彼らの

お母さんは、「あなたは天才だから学校が合わないのね」と言って学校をやめさせてしまいました。

2人はその言葉を聞き、「そうか、オレって天才なんだな」と、かなり強く錯覚したのだと思います。

子どもは、大人の影響を受けやすいものです。学校の勉強ができなくても、本人が「オレは天才だ」と信じ込めば才能は発揮されるのです。

もし彼らのお母さんが、学校の成績で子どもを評価してしまっていたら、アインシュタインやエジソンなどの「天才」たちは、生まれなかったかもしれません。

「あなたは素晴らしい。あなたは天才だ」と言いながら人をつくれれば、みんな天才に目覚めるのです。

文中の「**フラシーボ効果**」は、私達の業界(医薬品)ではよく話題になります。

その効果は、実際に店でお客様と接していてもよく感じます。

漢方薬とかサプリメントとかの説明をしている途中から、どんどん顔色が良くなり、声にハリが出てこられる方の改善率は、とても高く感じます。

逆に言えば、ご相談のお客様にどれだけ「**フラシーボ効果**」をプラスして、改善するイメージを持って頂く事が出来るかが大切になります。

その為には、私自身の「**大丈夫!!**」という言葉に、多くの信用～信頼を感じて頂けるように、しっかり勉強するのはもちろんですが・・・

最期は、「人間力」という事になる仕事だと思い、少しでも成長出来るよう頑張らなくては!!

PS

前に読んだ本に・・・

**「身体中の60兆個の細胞は、バカで何も考えていず～
ただ脳がイメージした通りに動く」**

という話を思い出しました。つまり60兆個の細胞たちに、どんなイメージを持たせるかが、健康においても人生においても重要なポイントだと言えます!!

